

# Market Watching

発表日: 2020年12月21日(月)

先行き不透明ながらも静かなクリスマスとなるか(マーケットウィークリー)  
～コロナ禍で市場も落ち着いた展開を望む～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

## 【先週の市場動向】

### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
12月14日(月)	日本: 日銀短観(12月)・大企業製造業業況判断	▲10	▲16	▲27	DI
	先行き	▲8	▲10	▲17	DI
	・大企業非製造業業況判断	▲5	▲7	▲12	DI
	先行き	▲6	▲7	▲11	DI
	ユーロ: 鉱工業生産(10月)	+2.1%	+2.0%	▲0.4%	前月比
12月15日(火)	中国: 鉱工業生産(11月)	+7.0%	+7.0%	+6.9%	前年比
	中国: 小売売上高(11月)	+5.0%	+5.0%	+4.3%	前年比
	中国: 固定資産投資(11月)	+2.6%	+2.6%	+1.8%	年初来前年比
	米国: NY連銀製造業景気指数(12月)	+4.9	+7.6	+6.0	ポイント
	米国: 鉱工業生産指数(11月)	+0.8%	+0.3%	+1.1%	前月比
12月16日(水)	日本: 貿易統計(11月)・輸出	▲4.2%	+0.5%	▲0.2%	前年比
	・輸入	▲5.7%	▲9.3%	▲13.3%	前年比
	・貿易収支	+3,668	+5,202	+8,717	億円
	日本: PMI製造業景気指数(11月)	49.7	—	49.0	ポイント
	PMIサービス業景気指数(11月)	47.2	—	47.8	ポイント
	ユーロ: PMI製造業景気指数(12月)	55.5	53.0	53.8	ポイント
	PMIサービス業景気指数(12月)	47.3	41.9	41.7	ポイント
	米国: 小売売上高(11月)・全体	▲1.1%	▲0.2%	+0.3%	前月比
	・除自動車	▲0.9%	+0.1%	+0.2%	前月比
	米国: PMI製造業景気指数(12月)	56.5	56.5	56.7	ポイント
	PMIサービス業景気指数(12月)	55.3	58.0	58.4	ポイント
	米国: 企業在庫(10月)	+0.7%	+0.6%	+0.7%	前年比
	米国: FOMC・上限金利	0.25%	0.25%	0.25%	FF金利
	・下限金利	0.00%	0.00%	0.00%	FF金利
12月17日(木)	台湾: 金融政策委員会	1.125%	1.125%	1.125%	公定歩合
	フィリピン: 金融政策決定会合	2.00%	2.00%	2.00%	翌日物リバースレボ金利
	スイス: 金融政策決定会合	▲0.75%	▲0.75%	▲0.75%	SNB要求払預金金利
	ノルウェー: 金融政策委員会	0.00%	0.00%	0.00%	中銀預金金利
	英国: 金融政策決定会合	0.10%	0.10%	0.10%	翌日物貸出金利
	米国: 新規失業保険申請件数(12/12終了週)	885	823	853	千件
	米国: 住宅着工件数(11月)	163.9	152.5	153.0	万件
	米国: フィラデルフィア連銀製造業景況感指数(12月)	+11.1	+20.0	+26.3	ポイント
	メキシコ: 金融政策決定会合	4.25%	4.25%	4.25%	銀行翌日物金利
12月18日(金)	日本: 全国消費者物価指数(11月)・総合	▲0.9%	▲0.8%	▲0.4%	前年比
	・除生鮮食品	▲0.9%	▲0.9%	▲0.7%	前年比
	日本: 日銀金融政策決定会合・政策金利	▲0.10%	▲0.10%	▲0.10%	日銀当座預金残高金利
	・10年債利回り操作目標	0.00%	0.00%	0.00%	10年物国債利回り
	英国: 小売売上高(11月)・除自動車燃料	▲3.8%	▲4.0%	+1.3%	前月比
ドイツ: ifo景気動向指数(12月)	92.1	91.0	90.1	ポイント	
12月19日(土)	—				
12月20日(日)	—				

## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.946	+5.0	▲5.2	▲150.8	0.895	0.804	0.727
日本	0.010	+0.0	▲0.5	+3.0	0.015	0.020	0.015
ドイツ	-0.571	+6.5	▲1.7	▲32.2	-0.576	-0.555	-0.485
豪州	0.986	+0.1	+10.0	▲22.0	0.947	0.873	0.893
株価							
NYダウ	30179.05	+0.4	+2.5	+6.9	29912	28610	26481
日経平均	26763.39	+0.4	+4.0	+11.8	26391	24537	22466
ユーロSTOXX50	3545.74	+1.7	+1.8	▲5.2	3509	3322	3171
上海総合	3394.90	+1.4	+1.4	+12.5	3389	3317	3143
為替相場							
ドル/円	103.30	▲0.7	▲0.5	▲5.7	104.05	104.82	106.34
ユーロ/円	126.62	+0.5	+2.9	+4.0	125.19	124.28	122.02
豪ドル/円	78.74	+0.5	+3.8	+4.9	77.22	76.06	73.63
ユーロ/ドル	1.2257	+1.2	+3.4	+10.3	1.203	1.186	1.148
商品市況							
WTI	49.10	+5.4	+17.4	▲19.4	45.23	41.35	35.98
金	1885.7	+2.5	+0.6	+28.1	1842	1884	1817

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (12/14~12/18) の金融市場は、引き続き方向感に欠ける展開が続いた。英米などでワクチンの接種が進む一方で、米国を含め、足元では感染者の拡大傾向に歯止めがかからない国も多い。週内に発表された米経済指標は、個人消費周りの統計に減速感が始めていることを示唆するものが相次いだ。一方で、米議会は追加景気対策の決定に難航しているものの、市場では“なんとかなる”との楽観論が支えとなり、急変するような事態は避けられている。

今週のマーケットは、クリスマス休暇に向けて取引も徐々に薄くなる。このような局面では、取引が一方に傾いて市場価格が急激に動くこともある。今年については、先行きに対する不透明感は強いながらも、適切な政策対応 (追加景気対策の実行など) とワクチンの普及による感染の終息といった楽観的な前提で市場は走っているだけに、梯子を外されると大きく崩れるリスクをはらむ。ただし、梯子を外れるかと言えば、そのような事態は今の段階では想定しにくい。ワクチンの有効性やリスク、接種率なども、想定と異なるような事実が判明するとしてもそれはまだ当分先の話だ。追加景気対策で市場が注目しているのは米国だが、これまで数ヶ月も市場は耐えてきただけに、物別れに終わらない限りは市場の期待も潰えないだろう。したがって、今週も引き続き方向感が定まらない中で、細かな材料に限定的に反応する市場展開が続くと予想される。今週発表される経済指標では、米消費者信頼感や失業保険申請件数が注目されるが、市場へのインパクトは限定的なものにとどまろう。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

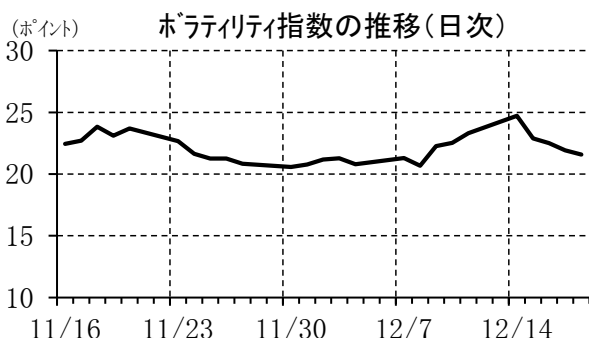
発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
12月21日(月)	—				
12月22日(火)	米国：実質GDP確定値(7-9月期) 米国：消費者信頼感指数(12月) 米国：中古住宅販売件数(11月)	★★★ ★	+33.2% 97.5 665	+33.1% 96.1 685	前期比年率 ポイント 万件
12月23日(水)	タイ：金融政策委員会 米国：個人所得支出統計(11月)・実質個人消費 ・PCEデフレ率 米国：製造業受注(11月)・耐久財 ・非国防資本財(除航空機) 米国：新規失業保険申請件数(12/19終了週) 米国：FHFA住宅価格指数(10月) 米国：新築住宅販売件数(11月)	★ ★★  ★★ ★★★	0.50% ▲0.4% +1.2% +0.7% +0.5% 875 +0.6%	0.50% +0.5% +1.2% +1.3% +0.8% 885 +1.7%	翌日物 <sup>1)</sup> 金利 前月比 前年比 前月比 前月比 千件 前月比 万件
12月24日(木)	トルコ：金融政策委員会	★	16.50%	15.00%	1週間物 <sup>1)</sup> 金利
12月25日(金)	日本：都区部消費者物価指数(12月)・総合 ・除生鮮食品 日本：労働力調査・失業率(11月) 日本：一般職業紹介状況・有効求人倍率(11月) 日本：商業動態統計・小売業販売額(11月) 日本：住宅着工戸数(11月)	  ★★ ★ ★ ★	  3.1% 1.04倍 +1.7% 80.7	  3.1% 1.04倍 +6.4% 80.2	前年比 前年比  前年比 万戸
12月26日(土)	—				
12月27日(日)	—				

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

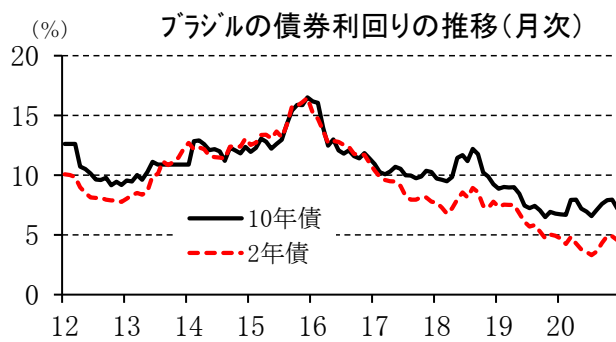
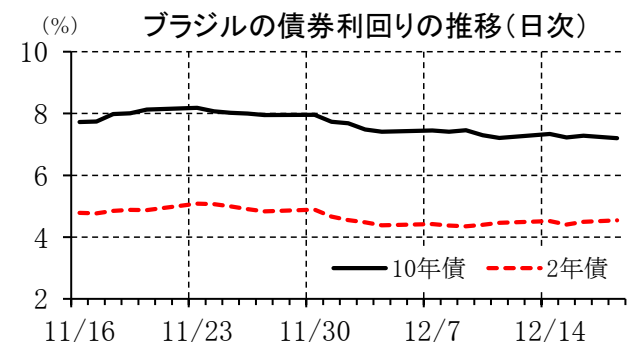
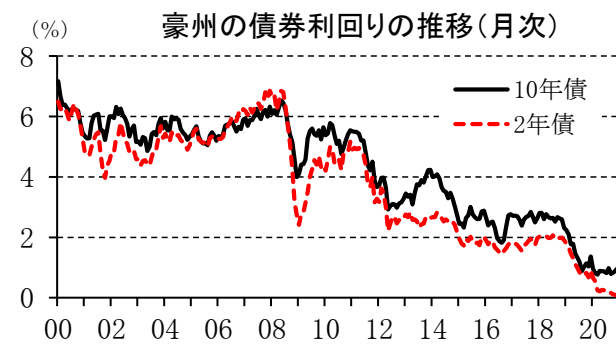
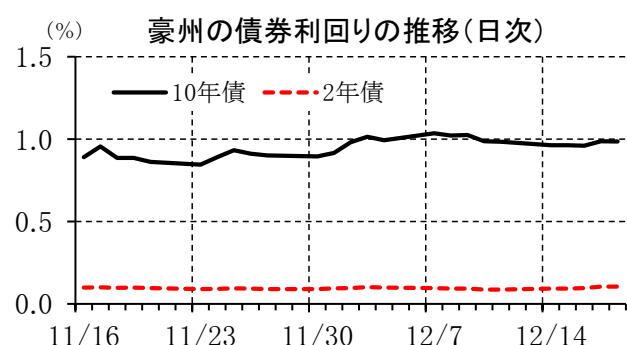
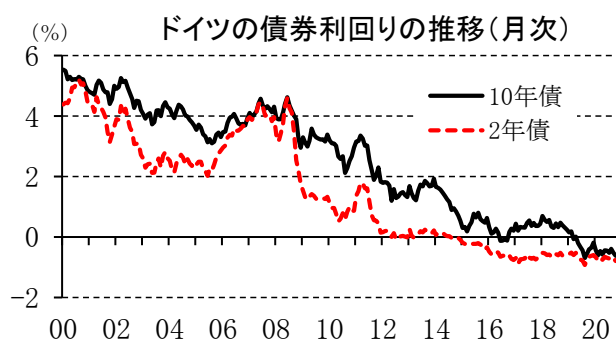
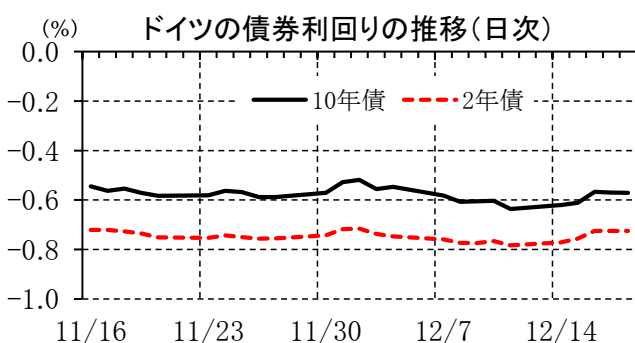
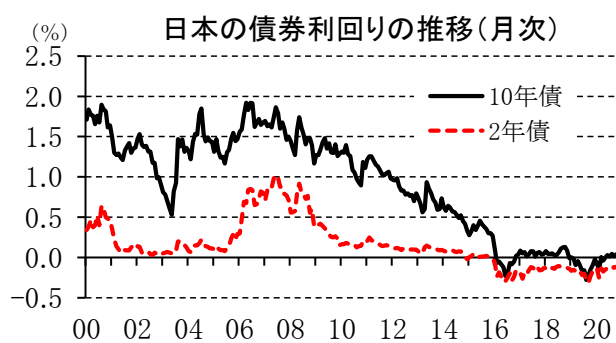
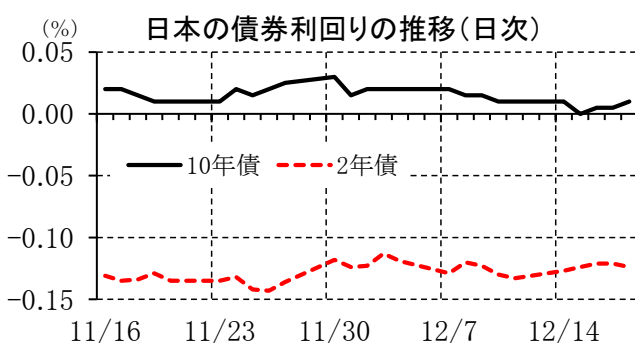
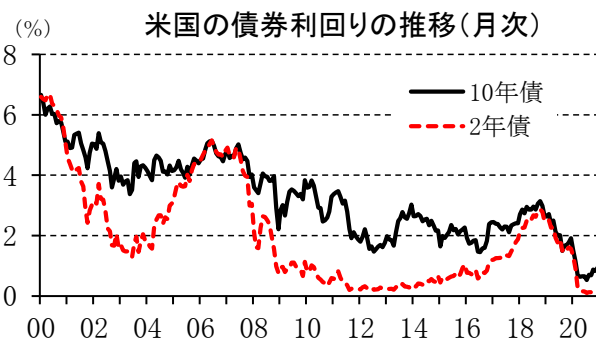
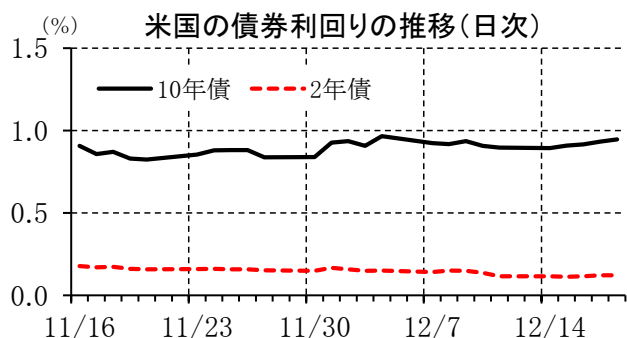
## その他の注目イベント・材料

発表日	イベント	注目度	備考
12月21日(月)	—		
12月22日(火)	日本：月例経済報告		
12月23日(水)	日本：金融政策決定会合議事要旨(10月分)		
12月24日(木)	日本：黒田日銀総裁講演	★★	
12月25日(金)	欧米など休場		
12月26日(土)	—		
12月27日(日)	—		

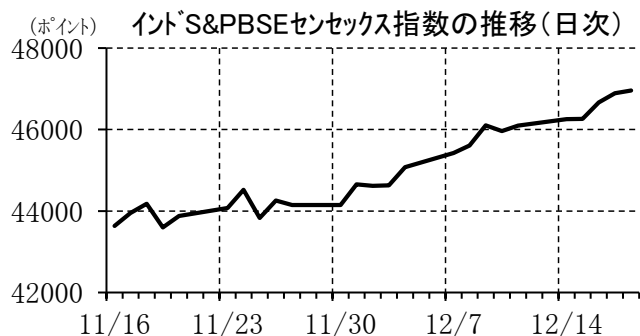
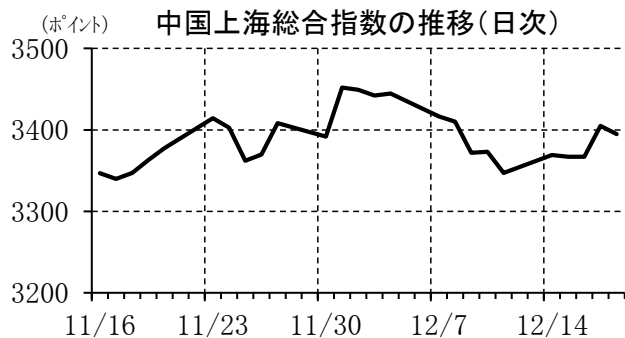
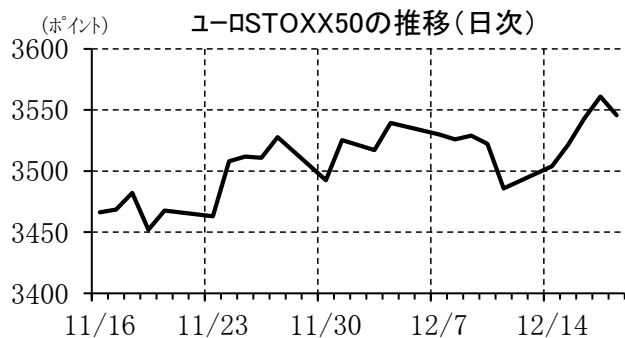
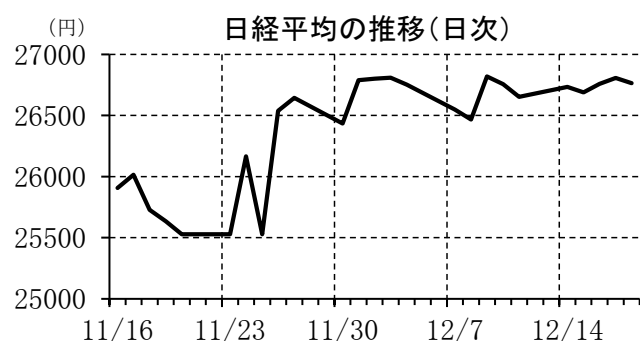
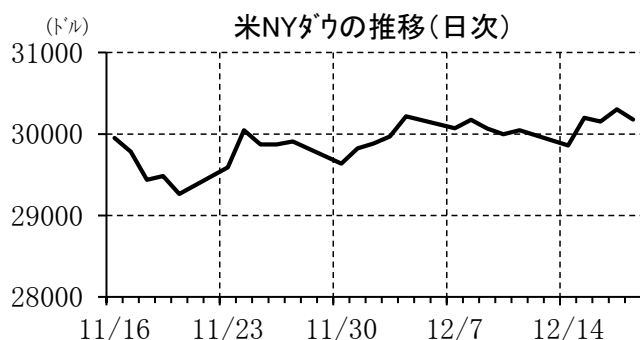
(注) 各種報道等による。注目度は筆者。



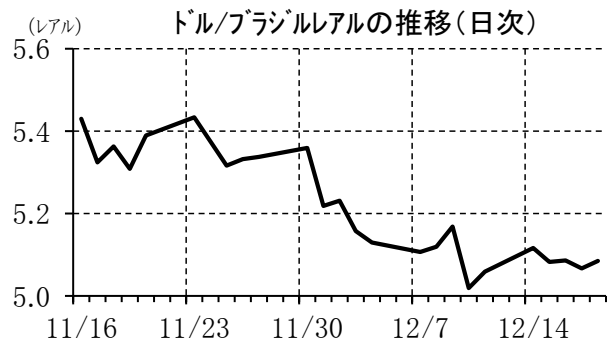
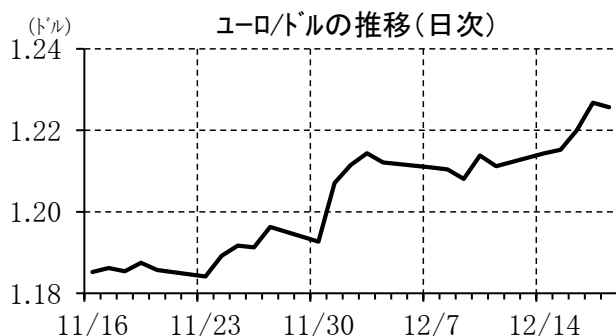
## 【債券利回り】



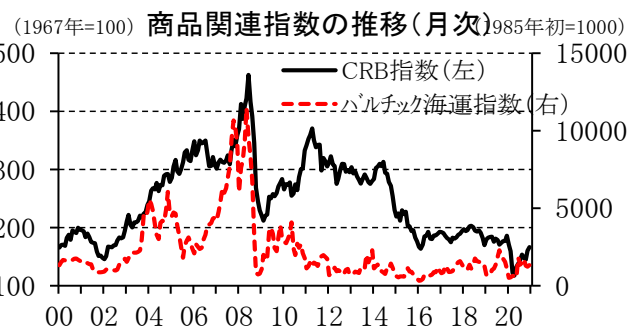
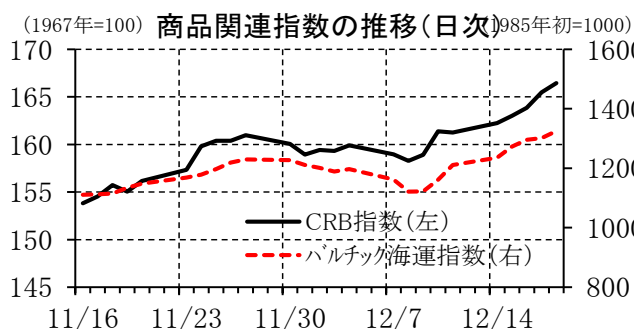
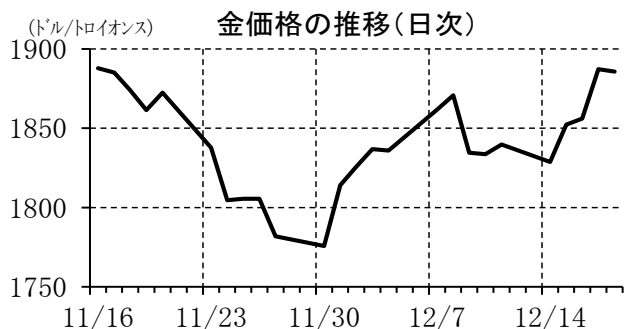
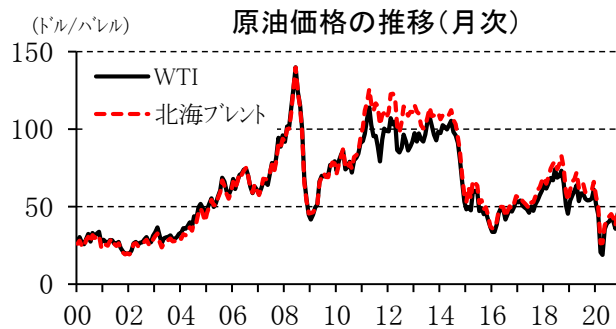
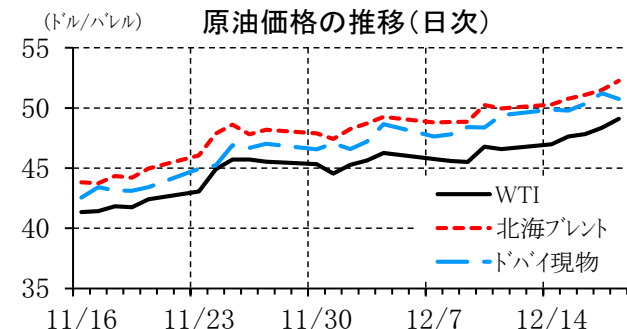
## 【株価指数】



## 【為替相場】



## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

